

日本のパラダイスになる！

東京滝川会会長 玉置和宏



東京に移り住んで50余年、先見の明のなきに反省しきりである。いまほど滝川で親父の後をとぼとほ継いでいけば安泰人生だったのにと思わざるを得ない。昨年の3・11で激しい揺れに遭遇して肝をつぶし、放射能で脅かされた後の感懐である。

それに近々東京直下型地震が相当の確率で予測されているという。ナマズの親分さん、もう勘弁してください。これでは東京人たるもの不安でやっていられない。でもこの素晴らしい腰を据えてしまった。軽々にこの快適な東京ライフを捨て去るわけにもいかない。逆説的にいえば、私たちの先祖がこの災害・地震列島の中で偶然とはいえ滝川という良い場

所を選んでくれた(?)ものだ。地震は震度2まで、もう原発は新規立地が無いだろうから放射能が飛んでくることもあるまい。高一の時遭遇した洞爺丸台風も怖かったが地震の比ではない。それに文化度は抜群である。あの「チヨッチャン」もそうだが、日本画の巨頭・岩橋英遠の記念館は近く開設に向けて具体的な動きがあると聞く。それにいまや銀座を席卷しているジンギスカン料理なる滝川グルメがある。それが縁でモンゴル人横綱の白鵬は滝川の観光大使になり、これにちなんだおこめ「白鵬米」が大人気だ。

2地域居住が東京人のブームだ。季節型別荘ビレッジを丸加高原に建設すればホームカミングする人が劇的に多くなる。

連合会加入のご挨拶

東京恵庭ふるさと会会長 奥山範夫



私たちの会は、昨年7月に発足し、2年目を迎えました。そして、昨年12月には連合会に加入しました。会員は地元の中・高卒業生を中心に、40名弱でスタートしました。発足に当たり、恵庭市からの呼びかけもありましたので、地元との交流は盛んです。加入早々ではありますが、地元との連携により産直フェアにも参加しました。

発足後の東京での会員参加活動は、総会・忘年会などの懇親会ですが、事務局長の尽力で発足前からホームページを立ち上げることができました。恵庭市の観光スポットや当会の活動内容などを紹介しております。

恵庭市は、北海道の中心である札幌市と空の玄関千歳空港との間にあり、道外の人には通過する町でした。産業的には、過去は農業

と自衛隊の街というイメージでしたが、近年では工業団地も造成され、札幌への通勤者が増え、逆に札幌などから恵庭市内教育機関への通学者も多く見られるようになりました。これからは

- (1) 活動内容を充実させる事により魅力ある東京会とする事で、会員数の拡大を日指す
- (2) 産直フェアへの参加など協同事業を通して、地元恵庭市との交流を進める
- (3) 連合会の企画行事へ参加することで各ふるさと会とのつながりを深める

を基本として行きたいと考えています。北海道関係者、各ふるさと会の皆様、今後共、宜しく、ご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

『あじまれ！かだまれ！(集まれの意)』

東京・厚沢部会

事務局 干山清一



「連合会会報」記念すべき30号の発刊、おめでとうございます。広報部会はじめ役員の皆様方のご苦勞に感謝申し上げます。

「東京厚沢部会」は「札幌厚沢部会」「函館厚沢部会」に続いて2000年3月に発足、秋(10月)と春(3月)に交流会を開催中。一昨年、10周年を迎え、新たなスタートとして計画した昨年春の交流会(開催予定3月13日)は、開催の2日前に発生した、あの「東日本大震災」で急遽中止。日本中が一瞬で暗闇に包まれました。

あれから1年後の、2012年3月に、2年振りの交流会を東京グリーンパレスで開催しました。

待ちわびた会員の方々を始め、大勢の参加



者により盛況裡に開催する事が出来ました。田舎の特産品を取寄せ、ビンゴゲームを配り、カラオケや、タロット占いなどの余興の後、手話を交えみんなで「ふるさと」を合唱。北海道に生まれて良かった、厚沢部町で育つて良かったと、故郷を想い起しました。

また、秋には、毎年、代々木で開催される「北海道産直フェア」に合わせ交流会を開催します。代々木会場に集合し、北海道各地の物産品をしこたま買い、食し「うだめエナ」懐かし味だなア」と、田舎弁丸出しで楽しんでいきます。我ふるさと「厚沢部町」は、道南に位置し、平成27年度完成計画の北海道新幹線の「新函館駅」からは、30〜40分程の至便な地域で、「メークインの発祥の地」でもあります。特産品「メークイン」で造ったメークイン焼酎、地元栽培のさつまいも「黄金千貫」で造った芋焼酎を「喜多里」のブランドで販売中(東京交通会館「どさんこプラザ」でも販売しています)。是非、ご賞味ください。

年2回の交流会で集い、「ふるさと厚沢部」に想いを馳せ、応援団としてこれからも盛り上げて行きたいと考えております。

ふるさと会としては、年々高齢化が進んでいます。会員各位は、交流会に出席することを楽しみに健康管理をしているとのこと。今回の交流会で、5名の若者の新規入会があり、うれしい限りです。これからも、20周年、30周年に向かって益々交流の輪を広げて参ります。

あじまれ！かだまれ！東京・厚沢部会に。